

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	春日市家庭教育支援チーム (呼称:春日コミュニケーション広場) URL: https://komihirojimdoofree.com/
②活動拠点	春日市
③活動範囲	春日市
④組織体制	21人 事務局7人(代表、事務局長、事務局長補佐2人、広報、会計、監査) コーディネーター 長阿彌幹生氏(教育文化研究所 代表) その他登録会員13人
⑤活動開始年度	平成24年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 事務局長 松里 裕三子 (TEL)090-3413-6884 (E-mail)komihiro2@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>①定例会 毎月、第4火曜日の午前 10 時から 12 時、市ふれあい文化センター学習室で開催</p> <p>定例会は、コーディネーターの長阿彌幹生氏と、月 1 回おしゃべりするところ、もやもやしていることなどをひとりで考えずに外に出せるところです。</p> <p>話す内容は何でもOK、ささいなことから、深刻な悩みまで(家族との関係、職場のストレス、子育て、不登校、介護、パートナーロス、生き方など)。</p> <p>長年、不登校保護者支援や福祉の活動を行ってきたコーディネーターの長阿彌幹生氏と、参加者の経験を持ち寄って、一緒に考える時間です。</p> <p>申込み不要、参加費要(1 回 1000 円/回・初回 500 円)</p> <p>②講演会 年1回、本会コーディネーターの長阿彌幹生氏を講師に、公開の講演会を実施</p> <p>近年は、オンライン ZOOM 録画配信のオンライン講演会とし、より多くの方の学習機会になるよう努めています。(以下、近年の開催実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 子どもを「見守る」を考える～だまってみているだけでいいの?～ ・令和6年度 親子のなかよしを考える 学校行きたくないこんな時どうする?～子どもの SOS を見逃さないために～ ・令和5年度 親子のなかよしを考える 子どもが明るく元気であるために ・令和4年度 不登校ゼロの国デンマークに学ぶ ・令和3年度(集合型) 子育て講演会 子どもとの信頼関係の作り方
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>良好な人間関係は人生を豊かにする基盤であり、意見の異なる相手とも対話し協力できる力が求められます。設立以来 10 年以上、誰もが安心して語り合える居場所を提供し、明るく健やかな人間関係づくりを目指して活動しています。</p> <p>この間の活動の成果は「別紙 春日コミュニケーション広場 活動の成果」にまとめています。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>

春日コミュニケーション広場 活動の成果

当団体の例会には、毎月約7～8名（10名弱）が参加しています。そのうち3名ほどは、運営ボランティアも兼ねています。申込不要・自由参加のため、継続的に参加する方もいれば、必要な時に断続的に参加する方もおり、それぞれのペースを尊重しています。

例会では、講師から適切なかかわり方を学びながら、親子・夫婦が互いを尊重し合える関係づくりを目指しています。参加者が日々の生活を振り返り、自分の言葉で語ることは、気持ちの整理や新たな気づきにつながっています。

参加者の悩みはさまざまです。不登校や卒業後未就職の子どもの将来を心配し、親子関係に悩むケース。就職後に子どもが心身ともに疲弊し、親としてどのように支えればよいか模索しているケース。発達や障がいの課題を抱える家庭に対し、必要に応じて情報提供を行うこともあります。

会で得たヒントをきっかけに、親子の対話が増え、子どもから自然に相談される関係を築いたご家庭もあります。保護者自身が孤立せず、気持ちが楽になり、子どもが少しずつ元気を取り戻していく姿は、参加者全員の喜びです。また、現状を否定するのではなく、まず受け入れ肯定していく視点も大切にしています。

子育ての経験は、新たに参加した方に寄り添う力となり、支え合いの循環が生まれています。当団体への参加をきっかけに、地域ボランティアへと活動の場を広げていく方も見られます。

年1回開催している無料講演会は、不登校への理解を広める啓発活動の一環で、今年は170回を超える視聴アクセスがありました。講師は、長年にわたり不登校の保護者支援に携わってきた方です。公表はしていませんが、これまでの参加者・支援者の中には、助産師、栄養士、社会福祉士、保育士、教員、自治会役員、学校ボランティア、人権擁護委員など、多様な立場の方々がいます。（元職も含む）

「共に生きていく」をモットーに、誰か一人の悩みをみんなで考える場でありたいと考えています。老若男女を問わず参加があり、多様な価値観に触れられることも本会の特徴です。他団体との横のつながりも大切にしながら、地域全体で子どもを育てていくことを目指しています。

数回子ども自身の参加事例もあります。